

XLP【ザイペックス・リキッド・ペネトレート】の施工方法

1. 準備工

- ・ 施工範囲の確認
- ・ 使用材料の数量確認および手配
リキッドの塗布量は $0.2\text{kg}/\text{m}^2$ 、ロス率として、現場に応じ 3~20%を見込む。

2. 下地処理工

- ・ 施工面の埃、型枠の剥離材除去及び施工面の目粗し、洗浄、含水を目的に高圧水処理を行う。
- ・ 高圧水の圧力は表面の汚れ具合、コンクリートの材令等を考慮して適宜調整する。

3. XLP の塗布

- ・ 下地処理工から時間が経過し、躯体表面が完全にドライな状態になっている場合は適宜散水する。
- ・ リキッド施工に際しては、材料が均等に混じるよう、容器を十分振って攪拌する。リキッドは原液のまま、躯体表面にローラー等で塗布する。塗布は 2 回に分けて行い、1 回当たりの塗布量は $0.1\text{ kg}/\text{m}^2$ とする。塗布量の管理は塗布対象面積に対する材料を計量し、計量した材料を対象面積に均一に塗布するように施工する。
- ・ 2 回目の塗布は、躯体表面が概ね乾いた段階で実施する。よって、総塗布量は $0.2\text{ kg}/\text{m}^2$ となる。
- ・ 塗布直後に降雨があると、リキッドの成分が流れてしまうので、降雨の恐れがある場合は施工しない。
※施工に着手した後で降雨の恐れが生じた場合はシート等で養生し表面排水が起こらないようにする。塗布面が乾かないうちに表面排水があり、リキッドの浸透が不十分であると思われる場合は安全を考慮し、再施工することが望ましい。

4. 反応水散布工

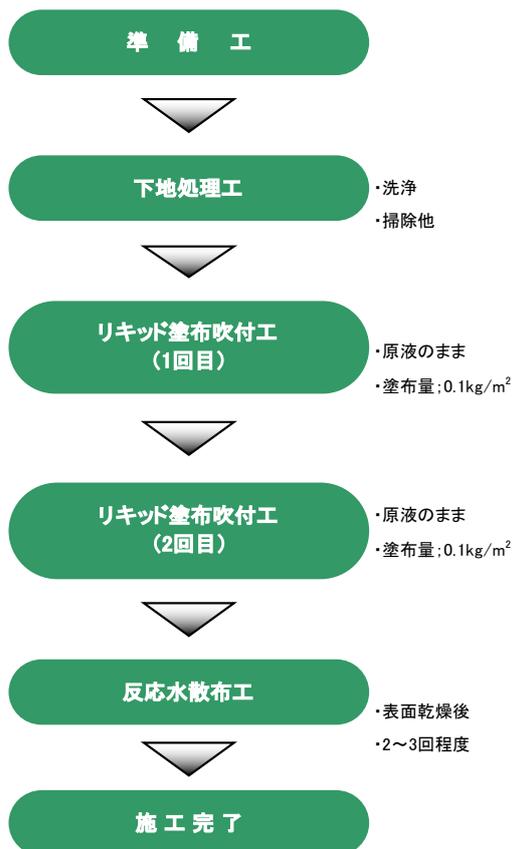
- ・ 塗布したリキッドが浸透した後、反応水を散布し養生する。

以上

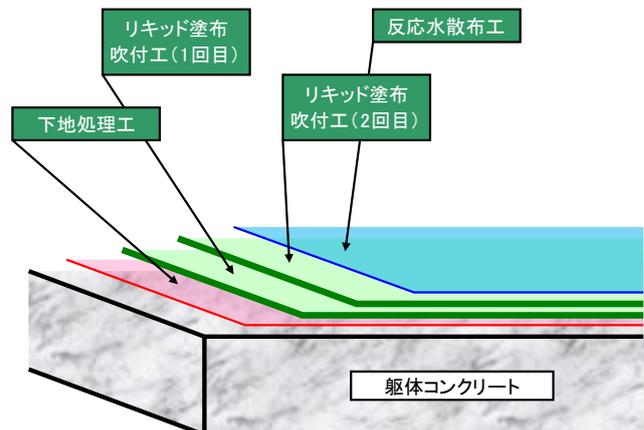
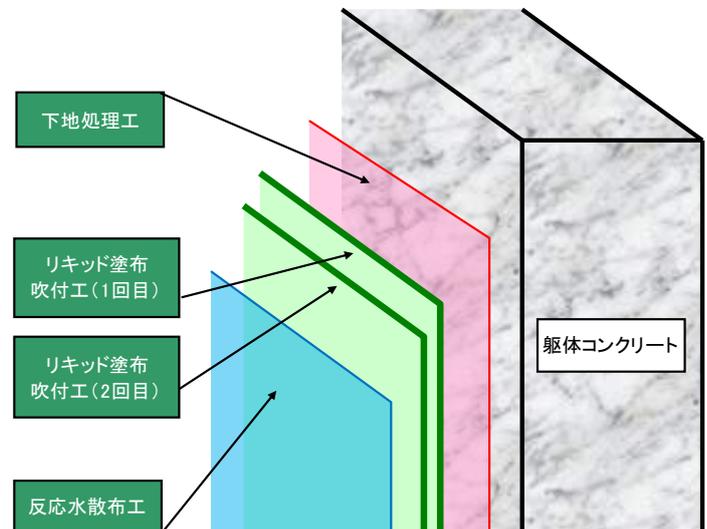
XLP(ザイペックス・リキッド・ペネトレート) 施工フロー

§ リキッド塗布工法 §

■ 施工フロー



■ 施工図



お問い合わせ先:

株式会社日本ザイペックス

〒107-0061

東京都港区北青山2-12-31 402

電話 03-3478-3080

FAX 03-3478-3081

URL <https://www.xypex.co.jp/>

Waterproofing
XYPEX
CONCRETE ENGINEERING BY CRYSTALLIZATION